

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券
信託期間	2021年8月13日まで（2016年10月24日設定）
運用方針	主として円建ての公社債および短期金融資産に投資を行います。 わが国の国債証券、政府保証債券ならびに、日本銀行が発行する債券および保証する資産を除き、組入資産は、原則として、取得時においてA-1格相当以上の長期信用格付もしくはA-2格相当以上の短期信用格付を有しているもの、または信用格付のない場合には委託会社が当該信用格付と同等の信用度を有すると判断したものとします。 組入資産の運用にあたっては、原則として償還日または満期日までの期間が1年を超えないものとします。
主要運用対象	円建ての公社債および短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

L A F （リキッド・アセット・ファンド）

第1期（決算日：2017年2月14日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「L A F（リキッド・アセット・ファンド）」は、去る2月14日に第1期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配率)	価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分 配	み 金 騰 落	中 率			
(設定日)	円	円		%	%	百万円	
2016年10月24日	10,000	—	—	—	—	15	
1期(2017年2月14日)	9,996	0	△0.0	66.7	—	14	

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落	率			
(設定日)	円		%	%	%	%
2016年10月24日	10,000	—	—	—	—	—
10月末	10,000	0.0	66.7	—	—	—
11月末	9,999	△0.0	66.7	—	—	—
12月末	9,998	△0.0	66.7	—	—	—
2017年1月末	9,996	△0.0	66.7	—	—	—
(期 末)						
2017年2月14日	9,996	△0.0	66.7	—	—	—

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 騰落率は設定日比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

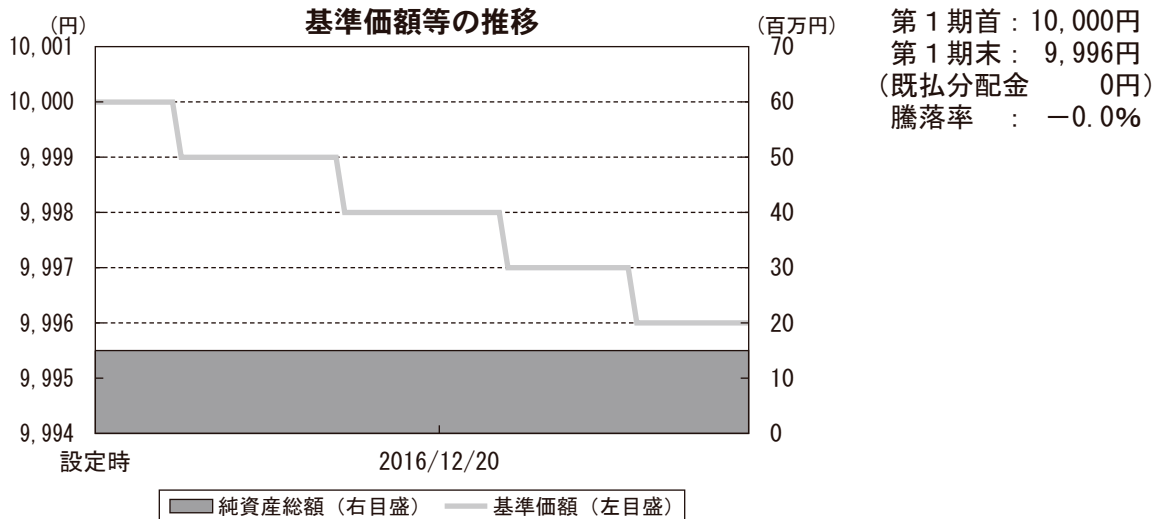
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第1期：2016/10/24～2017/2/14)

基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ0.04%の下落となりました。



基準価額の主な変動要因

下落要因

運用資金に対するマイナス金利適用や信託報酬などコストが、基準価額にマイナスに作用しました。

投資環境について

(第1期：2016/10/24～2017/2/14)

◎国内短期金融市場

＜無担保コール翌日物金利の推移＞

- ・日本銀行による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。日本銀行のマイナス金利の適用を受けて、足下ではマイナス0.03%程度で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

- ・短期国債（国庫短期証券）現先取引およびコール・ローンへの投資を通じて、利子収益の確保をめざした運用を行いました。運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は設定時と比べて下落しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第1期
	2016年10月24日～2017年2月14日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	—

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・原油価格の上昇などを背景に物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日本銀行の物価目標である2%には届かないと考えています。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・円建ての公社債や短期国債(国庫短期証券)現先取引およびコール・ローン等への投資を通じて、利子収益の確保をめざした運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2016年10月24日～2017年2月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(0)	(0.004)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(1)	(0.005)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.005)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	1	0.016	
期中の平均基準価額は、9,998円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年10月24日～2017年2月14日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内		千円	千円
国債証券		760,104	750,100

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2016年10月24日～2017年2月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

設定時残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 15	百万円 —	百万円 —	百万円 15	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2017年2月14日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 10,000 (10,000)	千円 10,000 (10,000)	% 66.7 (66.7)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 66.7 (66.7)
合 計	10,000 (10,000)	10,000 (10,000)	66.7 (66.7)	— (—)	— (—)	— (—)	66.7 (66.7)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券 第589回国庫短期証券※	% —	千円 10,000	千円 10,000	—	
合 計		10,000	10,000		

(注) ※印は現先で保有している債券です。

○投資信託財産の構成

(2017年2月14日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公社債	千円 10,000	% 66.7	千円 10,000	% 66.7
コール・ローン等、その他	4,995	33.3	4,995	33.3
投資信託財産総額	14,995	100.0	14,995	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年2月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	14,995,996
コール・ローン等	4,995,796
公社債(評価額)	10,000,200
(B) 負債	2,322
未払信託報酬	2,204
未払利息	4
その他未払費用	114
(C) 純資産総額(A-B)	14,993,674
元本	15,000,000
次期繰越損益金	△ 6,326
(D) 受益権総口数	15,000,000口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,996円

<注記事項>

①設定元本額 15,000,000円

期中追加設定元本額 0円

期中一部解約元本額 0円

また、1口当たり純資産額は、期末0.9996円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は6,326円です。

③分配金の計算過程

項 目	2016年10月24日～ 2017年2月14日
費用控除後の配当等収益額	-円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	-円
分配準備積立金額	-円
当ファンドの分配対象収益額	-円
1万口当たり収益分配対象額	-円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

○損益の状況 (2016年10月24日～2017年2月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△4,008
受取利息	△3,325
支払利息	△ 683
(B) 信託報酬等	△2,318
(C) 当期損益金(A+B)	△6,326
(D) 計(C)	△6,326
(E) 収益分配金	0
次期繰越損益金(D+E)	△6,326

(注) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。